

(令和4年(2022年)7月20日)

令和4年度(2022年度)エゾシカ対策有識者会議(生息状況評価部会)  
議事録(概要版)

日 時 令和4年(2022年)6月20日(月)14時00分~17時00分

開催場所 かでる2・7 1040 会議室

出席者 別添「出席者名簿」のとおり

議 題 (1) エゾシカの生息状況及び捕獲状況等について  
(2) 令和3年度(2021年度)エゾシカ個体数指数の推定について  
(3) エゾシカ捕獲推進プランについて  
(4) その他

議 事

(1) エゾシカの生息状況及び捕獲状況等について

ア 事務局(馬場主事)から資料1に基づき、エゾシカ捕獲数の推移について説明。

イ 事務局(馬場主事)から資料2に基づき、令和3年(2021年)エゾシカが関係する交通事故発生状況について説明。

ウ 道総研(稲富主査)から資料3に基づき、令和3年度(2021年度)列車運行支障発生件数によるエゾシカ生息動向の評価について説明。

エ 道総研(亀井研究主任)から資料4に基づき、令和2年度(2020年度)エゾシカ捕獲努力量当たりの捕獲数及び目撃数について説明。

オ 質疑応答等(  ・ 無 )

(宇野構成員) 狩猟事故で狩猟捕獲数が激減したのが令和元年だと思うが、今現在、狩猟の状況は事故の前と比べてまだ制約が多いのではないかと思う。

(梶構成員) 狩猟と許可捕獲のCPUE、SPUEについて、特定の時期に限られている狩猟と、件数が多いがすごく長いシーズンで捕っている許可捕獲は、生息数の指標としてどちらが適切なのか検討するべき。

(2) 令和3年度(2021年度)エゾシカ個体数指数の推定について

ア 上野構成員から資料5に基づき、令和3年度(2021年度)エゾシカライトセンサス調査結果について説明するとともに、資料6に基づき、ベイズ法によって算出した令和3年度(2021年度)の個体数指数等について説明。

イ また、道総研(稲富主査)から資料6補足資料に基づき、ライトセンサス代替データとしてのSPUEの検討について説明するとともに、山村構成員から推定手法の検討状況について補足説明。

ウ 事務局(仲澤係長)から資料7の構成について説明。

エ 質疑応答等(  ・ 無 )

(山村構成員) SPUEは平板化の傾向があり、ライトセンサスは逆に変動しすぎて推定がややこしい。SPUEとライトセンサスのいいところを組み合わせる指標のモデル化を検討していく必要がある。

(松田部会長) メスジカ捕獲数について、過去最高を目指すという危機感が必要。

(梶構成員) 個体数を減らすために明らかに言えるのはメスを捕ることだが、現状では足りていない。捕獲目標を上げて、それを実行するのに予算をつけたときに初めて上手くいく。北海道全体に広がっている現状では、前よりも大変な政策をとらないと抑えられない。

以上の意見のほか、地域区分(東部・北部・中部・南部)ごとに令和3年度(2021年度)の個体数指数等について意見交換を行い、資料7の内容を修正。

(3) エゾシカ捕獲推進プランについて

ア 事務局（坂村課長補佐及び仲澤係長）から資料8に基づき、令和4年度（2022年度）エゾシカ捕獲推進プランの考え方等について説明。

イ 質疑応答等（  ・ 無 ）

（上野構成員）今回推定した個体数指数の妥当性との兼ね合いになってくるが、捕獲推進プランがまだ十分に目標達成されていない中で、目標頭数を大きく変えることは、現場の混乱を招くのではないか。

(4) その他

特になし。

○ 事務局（坂村課長補佐）が論点の所感について言及。

また、資料7及び8については、事務局において内容を調整の上、改めて部会で検討いただくこととし、令和4年7月11日に開催予定の有識者会議では事務局から口頭により本日の部会の経過報告することを提案し、構成員の了承を得て閉会

以 上

令和4年度（2022年度）エゾシカ対策有識者会議（生息状況評価部会）  
出席者名簿

日時：令和4年6月20日(月)14:00～  
会場：かでの 2.7 1040 会議室

1 構成員

道総研エネルギー・環境・地質研究所	主 査	上野真由美
東京農工大学大学院 農学研究院	特 任 教 授	宇野 裕之
兵庫県森林動物研究センター	所 長	梶 光一
横浜国立大学大学院 環境情報研究院	教 授	松田 裕之
農研機構 農業環境研究部門	再 雇 用 職 員	山村 光司

2 関係機関

道総研エネルギー・環境・地質研究所	主 査	稲富 佳洋
	研究主任	亀井 利活
	研究職員	山口 沙耶
横浜国立大学大学院 環境情報学府	修士2年	藤原 彩

3 関係所属

農政部生産振興局技術普及課	農業環境係長	水山 亨
水産林務部林務局森林整備課	保護種苗係長	畑中 香之
	専門主任	伊藤 裕子
水産林務部森林環境局道有林課	道有林整備係長	梅津 和範

4 各（総合）振興局保健環境部環境生活課 ※Web 参加

空知総合振興局	技 師	押切 麻衣子
石狩振興局	自然環境係長	東 雅永
後志総合振興局	主 事	塩田 真士
胆振総合振興局	主 任	三好 岳志
日高振興局	自然環境係長	瀧本 淳徳
	主 任	橋本 琢実
渡島総合振興局	自然環境係長	藤本 剛
	主 事	網代 花
	技 師	櫻庭 碧
檜山振興局	自然環境係長	本間 有慈
留萌振興局	自然環境係長	三好 和貴
	主 任	蓮沼 資樹
	主 任	幌村 幸司
宗谷総合振興局	自然環境係長	曾我 浩二
	獣 医 師	西野 胡桃
オホーツク総合振興局	自然環境係長	亀崎 学
	主 事	笹川 絵莉子
	主 事	渡邊 夢香
十勝総合振興局	技 師	松木 睦深
釧路総合振興局	自然環境係長	川島 新
	技 師	井川 由唯
根室振興局	自然環境係長	河崎 淳

5 事務局

環境生活部自然環境局野生動物対策課	エゾシカ担当課長	田名瀬雅元
	課長補佐（エゾシカ対策）	坂村 武
	主幹（エゾシカ活用）	永仮 敦善
	エゾシカ対策係長	仲澤 健
	主査（エゾシカ）	渡辺はつき
	主 事	馬場 千尋